

- 問1 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 親潮（千島海流）と北東の季節風 2. 親潮（千島海流）と南東の季節風 3. 黒潮（日本海流）と北西の季節風 4. 対馬海流と南東の季節風
- 問2 かつて農業に不向きであった石狩平野の泥炭地を、日本有数の稲作地帯へと変えるために行われた工夫や取り組みについて、正しい説明を選んでください。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 地力を回復させるために、農地を数年ごとに休ませる「輪作」を導入した。 2. 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。 3. 高台から水を引くための大規模な「ため池」を建設し、乾燥した土地に水分を供給した。 4. 大規模な森林伐採を行い、燃やした灰を肥料として土地に混ぜる「焼畑」を繰り返した。
- 問3 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 高齢者の割合が全国で最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため 2. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため 3. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため 4. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
- 問4 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 金沢市 2. 宮崎市 3. 札幌市 4. 大阪市
- 問5 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。 2. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。 3. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。 4. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。
- 問6 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 根釧台地で主流となっている大規模な酪農 2. 十勝平野で見られるような大規模な畑作 3. 大規模な機械化による水田稲作 4. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培
- 問7 北海道における二〇〇五年から二〇二〇年にかけての農業統計では、農業経営体の総数が五百四十七から三百四十九へと大幅に減少する一方で、団体経営の数は三十五から四十三へと増加しています。また、経営耕地面積の合計は大きな減少を見せていないため、一経営体あたりの面積が拡大しています。このような北海道農業の動向を表す言葉として最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 減反政策による生産調整 2. 近郊農業の展開 3. 二毛作による土地利用率の向上 4. 農業経営の大規模化
- 問8 北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 日本海 — 流氷 2. 太平洋 — 樹氷 3. オホーツク海 — 樹氷 4. オホーツク海 — 流氷
- 問9 北海道の農業の土地利用の状況について、東北地方と比較して述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 北海道は全耕作面積に占める米の割合が日本で最も高く、米への依存度が東北地方よりも顕著である。 2. 北海道と東北地方はともに全耕作面積のほとんどが米で占められており、栽培面積の実数においても地域的な差異は見られない。 3. 東北地方は冷涼な気候のため米以外の畑作が中心だが、北海道は広大な土地のほぼすべてを米の栽培面積に割り当てている。 4. 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。
- 問10 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 2. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 3. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 4. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流氷が漂い、大規模な稲作が行われている。
- 問11 北海道の歴史や文化において、古くからこの地に居住しているアイヌの人々に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 明治時代に北海道を開拓するために、農業を行いながら北方警備を担当した人々である。 2. 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。 3. 江戸時代に徳川将軍家から北海道の支配権を認められ、松前藩を組織して交易を独占した一族である。 4. 鎌倉時代に本州から渡り、北海道南部の館（たて）を中心に和人の勢力を広げた武士の集団である。
- 問12 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。 2. 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。 3. 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。 4. 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
- 問13 北海道の稚内や知床といった地名は、ある人々の言語に由来しています。これらの地名の元となった言語を使用していた、北海道の先住民族を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. アイヌ民族 2. 弥生人 3. 蝦夷（えみし） 4. 縄文人

答え合わせ・解説

問1	答え 2 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問2	答え 2 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。	水分過多で栄養不足な泥炭地を農地に変えるため、排水路を作って湿地を乾かし、別の場所から運び込んだ肥沃な土を混ぜ合わせる「客土」などの土地改良が大規模に実施されました。この地道な努力の結果、石狩平野は北海道を代表する米どころとなりました。
問3	答え 4 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため	北海道の農業は、全国平均の約14倍という広大な耕地面積を誇りますが、従事者の高齢化と減少が進行しています。広すぎる土地を限られた人数で管理しなければならないという北海道特有の状況が、自動運転やロボットによる「省力化（労働力を節約すること）」を強く必要とさせており、スマート農業の普及を後押ししています。
問4	答え 3 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問5	答え 2 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。	北海道の地名の約8割がアイヌ語に由来すると言われています。先住民であるアイヌ民族は、文字を持たない代わりに地形や資源の特徴を詳細な言葉で呼び合っていました。明治時代以降の開拓の過程で、それらの呼び名に日本語の漢字が当てはめられたため、独特の読み方を持つ地名が各地に定着することとなりました。
問6	答え 3 大規模な機械化による水田稲作	石狩川の下流に広がる石狩平野は、もともとは水分を多く含み農耕に適さない泥炭地でした。明治時代以降、排水路の整備や客土といった大規模な土地改良事業が進められたことで、日本有数の米の生産量を誇る水田地帯へと生まれ変わりました。北海道東部の十勝平野が畑作、根釧台地が酪農の中心である点と区別する必要があります。
問7	答え 4 農業経営の大規模化	農業に従事する世帯（農業経営体）の数が減少する中で、一経営体あたりの経営耕地面積が広がる現象は「大規模化」と呼ばれます。北海道では、離農した農家の土地を他の経営体や団体経営が引き継ぐことで、広大な土地を効率よく管理する体制への移行が進んでいます。特に団体経営の割合が増加している点は、組織的な農業運営が強化されている背景を示しています。
問8	答え 4 オホーツク海 ― 流氷	北海道の北東部に面するオホーツク海では、冬になるとアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下し、流氷となって海岸に到達します。これに対し、日本海側は対馬海流（暖流）の影響を受けるため流氷は見られず、樹氷は山地の樹木に水分が凍り付く現象を指します。
問9	答え 4 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。	東北地方は伝統的に「日本の穀倉地帯」と呼ばれ、全耕作面積に占める米の栽培面積の割合が高い「米単作的」な傾向が強い地域です。一方、北海道も米の栽培面積の実数（ヘクタール）では最大級の規模を持ちますが、同時に小麦、豆類、てんさい（砂糖の原料）、じゃがいもといった畑作物や、大規模な酪農も並行して行われています。このため、農地の全体像を比較すると、北海道は東北地方よりも農業の多様性が高く、結果として全耕作面積に占める米の割合は低く抑えられることになります。
問10	答え 2 オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。	オホーツク海では、1月から3月にかけて流氷が接岸します。流氷には植物プランクトンが大量に含まれており、春に氷が溶け出すとそれらが一気に増殖するため、魚介類が豊富な好漁場となります。この特異な環境は、知床半島の自然保護や、網走・紋別などの地域の観光資源としても極めて重要です。
問11	答え 2 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。	アイヌの人々は、日本列島の北部や周辺諸島に古くから定住している先住民族です。彼らは日本語とは系統が異なる「アイヌ語」という独自の言語を持ち、自然の中の動植物や現象を「カムイ（神）」として敬う独自の精神文化を持っていました。現在はその伝統や文化を保護・振興するための施策が進められています。他の選択肢にある屯田兵や松前藩などは、アイヌの人々とは対照的な立場や異なる歴史的背景を持つ集団です。
問12	答え 4 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。	泥炭地は寒冷な気候の影響で植物が腐りきらずに堆積した土地で、スポンジのように水分を大量に含んでいます。このため、農業を行うには「客土」によって土壌を入れ替え、さらに排水路を整備して余分な水分を取り除く必要がありました。他の選択肢にある「火山灰地」は関東地方や九州地方、「砂丘」は鳥取県などの山陰地方、「段々畑でのみかん栽培」は愛媛県や和歌山県などの気候と地形を活かした取り組みです。
問13	答え 1 アイヌ民族	北海道には古くから、独自の文化を持つ先住民族であるアイヌの人々が暮らしてきました。現在でも北海道の多くの地名は、彼らの言語である「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」という意味の言葉に由来するなど、地域の自然の特徴が名前に反映されていることが多くあります。